



SAP Forum Tokyo

日 時 2017年 **8月4日(金)**
10:00 ~ 18:00 (受付9:00 ~)

会 場 グランドプリンスホテル新高輪
国際館パミール
東京都港区高輪3-13-1

アクセス

新幹線・JR線・京急線の品川駅(高輪口)から…徒歩約5分
都営地下鉄浅草線高輪台駅から…徒歩約3分



参加対象 | SAP及びSAP製品にご関心のある全ての方

参加料 | 無料 / 事前登録制

お申込み方法 | 下記URLよりご登録ください。登録後、受講証をご案内いたします。

※申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

※同業他社様からのお申し込みは、お断りさせていただく場合がございますので、予めご了承下さい。

開催趣旨 | 私たちは、4つの問いに、はっきりとお答えします。

Why: なぜ、デジタルなのか？

AI、IoT、ビッグデータ、クラウド、オムニチャネル、AR、そしてIT...

「デジタル」と総称されるこうした経営ツールについての記事を見かけない日はありません。

デジタルが原動力となって「第4次産業革命」が押し寄せるのも、もはや規定路線のような扱いです。

しかし、そもそも「デジタル」は、なぜこれほどまでのインパクトをもつのでしょうか？

What: 取り組むべき施策は？

デジタル戦略において「一般解」は無意味です。貴社の置かれた現状、強みと弱み、競争環境、そうしたものを無視して議論しても意味はありません。しかし、先行事例から学ぶことはできます。

特に「業界の垣根」をデジタルが急速に崩しつつある現在においては、いつも意識している競合他社よりも、むしろ他の業界の事例にこそ、そのヒントがあります。

How: どのように進めるか？

「デジタル」を自社の事業にどのように取り入れていくべきなのか？ 勘所は？ 方法論はあるのか？

あります。デジタル施策では「やるべきこと」と「やってはいけないこと」がはっきりしています。

その基本を守り、「スジのよい進め方」をとことん追求することが、デジタルでは特に重要です。

with Whom: 誰とともに取り組むべきなのか？

どんな未来も、作るのは人です。「デジタル」は一つの経営ツールにすぎません。

人がツールを使うのであって、その逆ではありません。ともに考え、ともに苦しみ、ともに未来を作る。

SAPは、その覚悟を持って、はっきりと「顔」をお見せします。

主催: SAPジャパン株式会社 協力: 株式会社ビジネス・フォーラム事務局

プログラム・ご登録はこちら

<http://www.b-forum.net/sapforum>

お問合せ先・発送元: 株式会社ビジネス・フォーラム事務局

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30~18:00 ※土・日・祝日を除きます)



注目プログラムのご紹介

PROGRAM

10:00 ～ 10:50 Keynote FK-01

It's Time. 今こそ、日本が世界をリードする存在に

第4次産業革命。人手不足、AI、インダストリー 4.0、働き方改革、Society 5.0、昨今のこうしたキーワードは、根本ではすべてつながっています。高度成長期以降の、いまの日本企業のかたちを作った「従来の競争軸」に加えて、「もうひとつの競争軸」が、求められているのです。それは「デジタル」と総称される道具をスジよく組み合わせて、顧客のより高次の欲求を満たす、という競争軸です。今年もSAPとともにデジタル変革に踏み出しておられる経営者の方にもご登壇いただき、具体的な事例とともにお届けしていきます。

SAPジャパン株式会社

代表取締役社長 福田 譲



10:50 ～ 11:30 FK-02

The Intelligent Future お客様とともにデジタル変革を起こすSAP Innovation Centerの取り組みのご紹介

業種の垣根の崩壊、業界に天変地異を引き起こす新規ビジネスの台頭、今まで考えられなかった新規マーケットの出現。目まぐるしく変化する現在のこのような状況は、すべてデジタルテクノロジーを活用することにより可能となった事であり、経営者にとってテクノロジーをいかに活用するか、テクノロジーとともにいかに変革を起こし、市場で勝ち残るかは喫緊の課題となっています。

SAPイノベーションセンターネットワーク

ディレクター Upen Brave



11:30 ～ 12:00 Breakout

※注目セッションを抜粋して掲載します。他にも多数のセッションがございます。詳細はイベントサイトをご確認ください。

12:00 ～ 12:40 FT-03

SAP LeonardoによるIoT戦略の全貌について

2020年までに2400億円の投資をもってSAPが全力を上げて世界中のお客様のイノベーションをご支援するSAP Leonardoの全体像を事例を交えてご説明させていただきます。

SAPジャパン株式会社

IoT&Digital Supply Chain事業部 部長 小野田 久視

12:40 ～ 13:00 ショート・ブレイク

13:00 ～ 13:45 FB-06

ムラタシステムが実現するIoT時代の物流倉庫管理システム(WMS)

ムラテック・村田機械グループのムラタシステムは、物流倉庫システム(WMS・WCS)で2,000システムの納入実績を持ちます。当セッションではSAP SQL Anywhereを初めとするSAP製品の活用で実現する「自動化設備と連携したWMS」「クラウドサービスやKPI分析」などIoT時代のSCMに求められる機能を強化した「次世代型WMS」についてご紹介します。

ムラタシステム株式会社

開発部 部長 田村 博文 氏

16:00 ～ 16:45 FB-16

FinTechベンチャーから見たERPの意義

クレジットカード不要の決済サービスPaidyを提供するFinTechベンチャー、エクスチェンジコーポレーション様は、SAP Business ByDesignを導入し、3つの経営課題への対応に役立てています。当講演ではKPIの適切な設定とリアルタイムな把握など、ファクトに基づいたPDCAを回す同社の経営についてご講演いただきます。

株式会社エクスチェンジコーポレーション

CFO 乾 牧夫 氏

16:00 ～ 16:45 FT-17

垂直統合による収益確保を目指したマネジメントモデルとは

顧客志向に伴う製品の多様化や市場の突発的な需給変動がある中、企業として確実な収益につなげていくためにはマネジメントと業務管理が統合し、組織横断で精度の高い情報に基づいて正しい意思決定を行っていくことが重要となります。最新のSAPソリューションを通じてどんなことが可能なのか、他社はどこまで取り組まれているのかをご紹介します。

SAPジャパン株式会社

小野山 忍

17:00 ～ 18:10 FK-03

企業におけるイノベーションの起こし方

SAP製品のイノベーションをリードしている開発拠点「SAP Labs Palo Alto」には、政官学から年間1,400人もの日本人の方が視察や研修に来訪されています。そこには何があるのか、現地の人間からご紹介し、実際に訪れた日本企業の変革者の方からは、ご自身の企業におけるイノベーションの起こし方について語っていただきます。

SAP Labs -Silicon Valley

Principal 小松原 威



TOTO株式会社

取締役 常務執行役員 新領域事業グループ、浴室事業、キッチン・洗面事業 担当 林 良祐 氏



オンライン登録について

当日会場へお越しになれない遠方の方からのご要望にお応えして、基調講演を含む一部の限定したセッションについて、インターネット経由のライブストリーミング中継を実施することとなりました。ストリーミング中継による参加をご希望の方は以下の専用URLよりお申し込みをお願いします。

<https://forum-stream.sapevent.jp/forum2>

日本最大の調達・購買イベント SAP Ariba Network Live

8月3日(木) グランドプリンスホテル高輪 B1F

SAP Ariba の国内外の最新事例や知見のご紹介など、調達・購買における最先端のデジタル変革について、充実したプログラムを多数ご用意しております。

プログラム・お申込みはこちら

<http://www.b-forum.net/ariba2017>